

# 梅毒、しずかに増え続けています

## どんな病気？

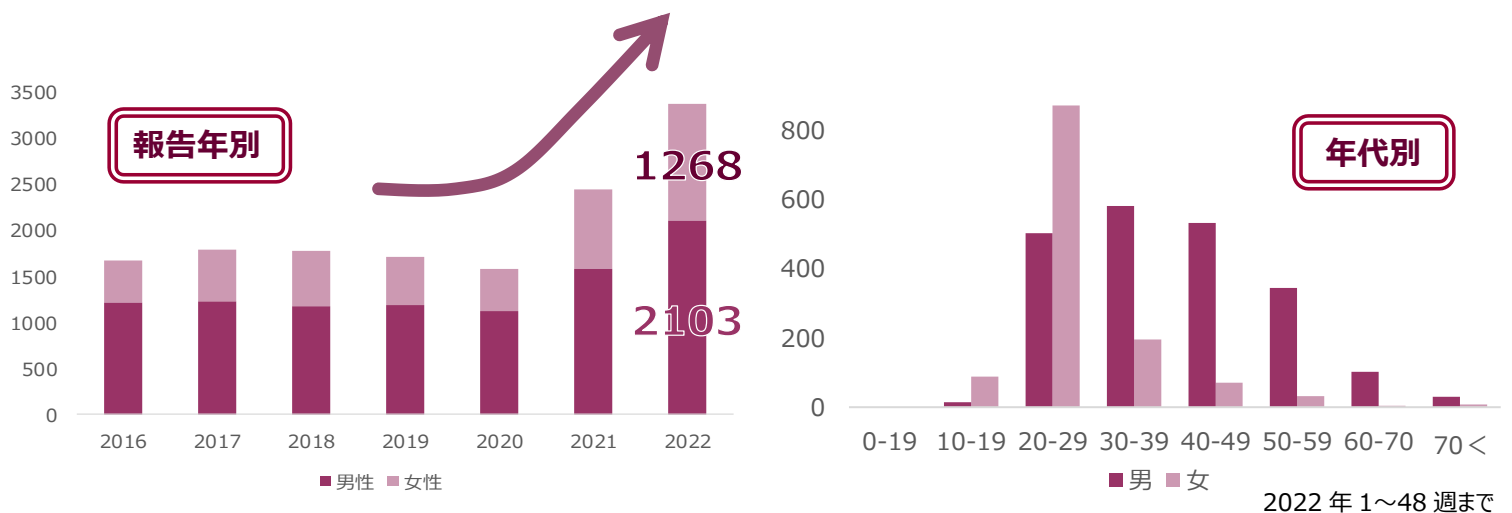
梅毒トレポネーマによる感染症です。性行為で粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。ほとんど症状がなく経過しますので、自分でも気づかないまま病気が進行していきます。そして、気づかないまま他の人に感染させていきます。

感染後約1か月で、感染した場所（性器、肛門、口など）に、発疹やしこりなどができますが、治療しなくても数週間で症状は消え自然に良くなっていきます。そして気づかないうちに病気は静かに進み、数年～数10年後に、心臓、血管、神経の異常が現れることがあります。失明や認知症のような症状が出ることもあります。

また、妊娠中の母親が梅毒に感染すると胎盤を通じて胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡、先天性の障害（先天梅毒）が起こることがあります。

## どのくらい多いの？

2016～2020年は年間1,700件前後で推移していましたが、2022年は48週までの期間でその2倍となる約3,400件の報告数があり、過去最高を更新する多さとなっています。



## どうやってうつるの？

性行為により、病原体を含む分泌液（精液、膣分泌液など）、血液などに直接接触することで、粘膜や傷口から感染します。梅毒は何回でも感染し、自分でも気づかないまま他の人にも感染させます。

## どうやって防ぐの？

コンドームを正しく使うことが予防には有効です。口腔性交（オーラルセックス）、肛門性交（アナルセックス）でも感染します。感染を防ぐためにも、コンドームの正しい使用が大切です。心配なときは検査を受けましょう。

### 性感染症検査について

一般の医療機関で受けることができます。都内保健所等では、匿名・無料でHIV検査と同時に受けることができます。検査は血液を採取して行います。